

経営探訪

【有限会社 中央市場】

自分たちの身の丈に合ったノウハウを構築し お客様と一体感のある店舗経営を目指す

秋田県南を中心に、ビフレ・食品館などの愛されるスーパーづくりを実践する中央市場。昭和56年の創業以来、生鮮4品の品揃えとお値打ち感のある価格設定にこだわり、地域のお客様に親しまれている。店舗ごとの個性を活かした自由度の高い営業展開が特徴だ。昨年9月に金澤正樹氏が2代目社長に就任し、新たな展開を迎えている。



代表取締役社長
金澤正樹
Masaki Kanezawa

鮮魚店を原点に持つ スーパーマーケットチェーン

有限会社中央市場は、昭和56年に湯沢市で「総合食品金沢商店」として誕生し、その5年後から現社名となった。現在、スーパーマーケットチェーンとして「食品館」を湯沢市に1店舗、「ビフレ」(旧ビッグフレック)を県内外に10店舗(湯沢市2、横手市、大仙市、秋田市2、にかほ市、仙北市、山形県新庄市、岩手県花巻市)展開している。

金澤社長は創業者で現相談役を務める父・正隆氏の後を継ぐ2代目。平成22年に入社し、昨年秋に社長に就任した。先代が築いた組織を引き継ぎ、さらに育てていく使命を担っている。

中央市場の原点は代々続く鮮魚店という金澤家のルーツに因る部分が多い。「鮮魚=新鮮な食材」を扱っ

てきたことから、スーパーマーケットという業態で生きる現在、「私たちが大切にしているのは、魚・肉・野菜・惣菜という生鮮4品です」と金澤社長は言う。大手競合他社がひしめくスーパーマーケット業界において、同社は「後発で小規模」を自認しながら、独自の店づくりを目指し、成長してきた。

店名変更のエピソードもユニークだ。「ビッグフレック」という店名を、常連のお客様たち、特に女子高生が「ビフレ」という愛称で呼んでいることを知った先代が「それいいね!」と店名に採用したという。広い世代のお客様に愛され、通い続けていただけるお店でありたいという思いが今の看板に表れている。

自由度の高いチェーン展開

現在11店舗を構える中央市場では、大仙市に流通セ

写真は大仙市の国道105号線沿いにある「ビフレ大曲店」。鮮魚コーナーの品揃えが充実しており、お刺身はこのお店で買うと決めている常連さんも多い。

ンターと生鮮加工センターを設置して物流と加工を管理。しかし、各店舗の仕入れや棚の管理は、それぞれの店長の判断に委ねるところが多い。「現在の規模だと本部判断を待つよりも、店長判断の方が実状に合っていて迅速な対応ができる。お客様のご要望に応えやすい」と話す。本部主導での一括仕入れや作業効率化にこだわりすぎず、状況をよく見て変えていく“ゆるさ”も必要であるとして、本部と現場の意見を融合させた結果、店舗によって独自の得意ジャンルが生まれて評判を呼んでいる。

こうした自由度を許容できる・裁量を委ねられる背景には、常に全社での意思疎通が図られている点が挙げられる。中央市場では年度ごとに「経営計画書」を策定しており、新年度の始めには全社員を集めた経営計画発表会を実施している。この取り組みは創業当初から続けられており、経営計画を透明化して共有することで、社員の自覚を促すことができ、責任感が強まるという。「社員の意識的な参加があったからこそ、創業当初からの“売り上げ100億円”という目標をクリアして、次に進むことができたのだと思っています」と金澤社長。

将来を見据えた展開を

今後の展望については、「今まで築き上げてきたものを大切に維持しながら、将来的な展開を見極めて進んでいきたい」と話す。そのための必須項目として「主軸である生鮮4品の質を高めること」「お客様の声に耳を傾け続けること」「本部や現場スタッフたちとの基本的な議論を通して現場の声を拾い上げること」の3点を常に意識している。

昨年11月、将来的な対策の一環としてセミセルフレジの導入を決断。人口減少が懸念される中、働き手の不足からオペレーションの省力化の必要性を実感し、約半年かけて全店舗に導入した。セミセルフレジはお買い上げ商品の読み込みをレジのスタッフがを行い、代金の支払いのみ機械で行うものである。高齢の常連客も多いことから導入初期の混乱を懸念していたが、実際には大きなトラブルもなく順調に移行できた。結果として、代金やおつりの受け渡しの時間が短縮され、レジ待ちの流れが順調になり、売り上げが向上するという効果も生まれた。「将来的には(商品の読み込みから代金支払いまで行う完全な)セルフレジに切り変える必要もあると思いますが、そこは機を見ながら進めたいです。この事業ではあきた企業活性化センターの設備貸与制度を活用しました」と金澤社長。

今後は県内だけではなく、現在進出している岩手県、山形県での店舗展開も視野に入れている。時代の流れに合わせて、今後も自由度の高い経営スタイルで、地域の人々に愛されるスーパーを目指していく。



- A セミセルフレジの導入でレジの待ち時間が短縮された。
- B セミセルフレジの操作は簡単で、誰でも1度で慣れてしまう。
- C 困ったときはレジスタッフがすぐに対応してくれるので安心。
- D 季節感を楽しめる果実コーナー。



有限会社 中央市場

〒014-0206 秋田県大仙市長戸呂字蛸川端38番地
TEL.0187-88-8577 FAX.0187-88-8573

- 創業/昭和56年7月
- 資本金/5,000万円
- 従業員数/213人
- 営業品目/小売業 スーパーマーケットチェーン